

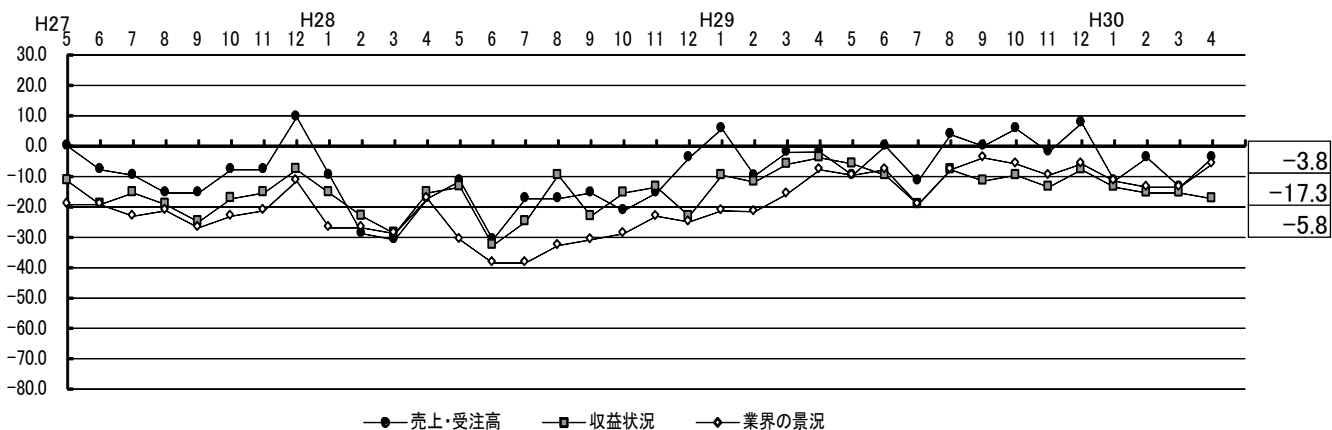
中小企業団体情報連絡員報告結果(平成30年4月分)

栃木県中小企業団体中央会

この報告結果は、栃木県中央会において設置している中小企業団体情報連絡員（中小企業組合（協同組合、商工組合等）の役職員52名に委嘱）による、所属組合の組合員企業の全体的な景況です。

- 4月の前年同月比DI値は、前月の前年同月比DI値と比べて、9指標中「売上高」「雇人員」「業界の景況」が上昇し、「販売価格」「収益状況」「設備操業度」が下降した
- 主要3指標は、「売上高」が前月より9.7ポイント上昇し-3.8ポイント、「収益状況」が前月より-1.9ポイント下降し-17.3ポイント、「業界の景況」が前月より7.7ポイント上昇し-5.8ポイントであった。
- 製造業・非製造業ともに、前月比で「売上高」「業界の景況」において改善傾向を示した。業種別では、食料品製造業が売上高において大幅な伸びを示した一方で、小売業は売上高が大幅にダウンした。多くの業種において人材不足が否めない状況にあり、運輸業においては、特にドライバー不足が深刻化している。

県内主要3指標の推移(前年同月比DI値)



主要3項目	県内		全国	
	DI値	前月比	DI値	前月比
売上・受注高	-3.8	+9.7	-10.4	-1.3
収益状況	-17.3	-1.9	-17.1	-1.1
業界の景況	-5.8	+7.7	-15.7	-0.9

売上・受注高

当月の県内売上・受注高DI値は、前月より9.7ポイント上昇し-3.8ポイントとなった。全国においては、前月より1.3ポイント下降し-10.4ポイントとなった。

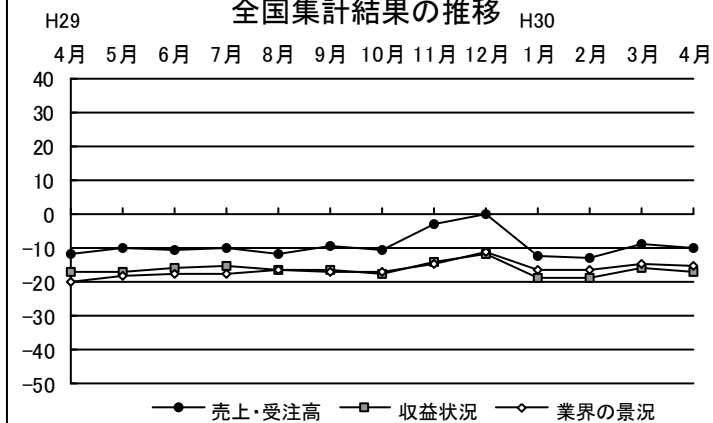
収益状況

当月の県内収益状況DI値は、前月より1.9ポイント下降し-17.3ポイントとなった。全国においては、前月より1.1ポイント下降し-17.1ポイントとなった。

業界の景況

当月の県内業界の景況DI値は、前月より7.7ポイント上昇し-5.8ポイントとなった。全国においては、前月より0.9ポイント下降し-15.7ポイントとなった。

全国集計結果の推移



概況

4月の前年同月比D I値は、前月の前年同月比D I値と比べて、9指標中「売上高」「雇用人員」「業界の景況」が上昇し、「販売価格」「収益状況」「設備操業度」が下降した。主要3指標は、「売上高」が前月より9.7ポイント上昇し-3.8ポイント、「収益状況」が前月より-1.9ポイント下降し-17.3ポイント、「業界の景況」が前月より7.7ポイント上昇し-5.8ポイントであった。

前月比では「売上高」「業界の景況」が上向きに転じたが、「収益状況」は前月同様厳しい結果となった。一部の業種において売り上げが増加したが一過性のものであるとの報告があった。

業種別の状況を見ると、図表4のとおり、「売上高」は製造業で7業種中3業種が上昇、1業種が低下し、非製造業で6業種中3業種が上昇、1業種が低下した。「収益状況」は製造業で2業種が上昇、2業種が低下し、非製造業で1業種が低下した。「業界の景況」は製造業で7業種中1業種が上昇、1業種が低下し、非製造業で1業種が上昇した。

製造業・非製造業ともに、前月比で「売上高」「業界の景況」において改善傾向を示した。業種別では、食料品製造業が売上高において大幅な伸びを示した一方で、小売業は売上高が大幅にダウンした。多くの業種において人材不足が否めない状況にあり、運輸業においては、特にドライバー不足が深刻化している。

図表1～【業種別・指標別動向一覧表】

	売上	在庫	価格	条件	収益	資金	設備	雇用	景況
食料品製造	○	△	△	△	△	△	△	△	△
繊維・同製品	△	△	△	△	×	×	△	△	△
木材・木製品	△	×	△	△	△	×	△	△	×
印刷	△	△	△	△	△	△	△	△	△
窯業・土石	△	△	△	△	△	△	×	△	△
鉄鋼・金属	△	△	△	△	△	△	△	△	△
一般機器	△	△	△	△	△	△	△	△	△
卸売業	△	△	△	△	△	△	—	△	△
小売業	×	△	△	△	×	△	—	△	△
サービス業	△	—	△	△	△	△	—	△	△
建設業	△	—	△	△	△	△	—	△	△
運輸業	△	—	△	△	△	△	—	△	△
その他	△	—	△	△	△	△	—	△	△

図表2～【業種別・指標別DI値一覧表】

	売上	在庫	価格	条件	収益	資金	設備	雇用	景況
食料品製造	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
繊維・同製品	0.0	-25.0	-25.0	-25.0	-50.0	-50.0	0.0	25.0	0.0
木材・木製品	-25.0	-75.0	0.0	0.0	-25.0	-50.0	25.0	-25.0	-50.0
印刷	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
窯業・土石	0.0	-25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	-50.0	0.0	25.0
鉄鋼・金属	0.0	-25.0	0.0	0.0	-25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一般機器	-25.0	25.0	0.0	0.0	-25.0	-25.0	-25.0	0.0	-25.0
製造業	0.0	-16.0	0.0	-4.0	-20.0	-20.0	-8.0	0.0	-8.0
卸売業	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	/	0.0	0.0
小売業	-57.1	-14.3	28.6	-14.3	-42.9	-28.6		14.3	-28.6
サービス業	-16.7		0.0	0.0	-16.7	33.3		0.0	0.0
建設業	20.0		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0
運輸業	25.0		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	25.0
その他	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0
非製造業	-7.4	-10.0	7.4	-3.7	-14.8	0.0		3.7	-3.7
全体	-3.8	-14.3	3.8	-3.8	-17.3	-9.6	-8.0	1.9	-5.8

図表3～【指標別DI値の推移】

	29年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	30年 1月	2月	3月	4月	前月比
売上高	-1.9	-9.6	0.0	-11.5	3.8	0.0	5.8	-1.9	7.7	-11.5	-3.8	-13.5	-3.8	9.7
在庫数量	0.0	-8.6	-14.3	2.9	-2.9	-17.1	0.0	-17.1	-2.9	-28.6	-20.0	-14.3	-14.3	0.0
販売価格	1.9	5.8	3.8	3.8	1.9	1.9	1.9	-1.9	3.8	1.9	7.7	5.8	3.8	-2.0
取引条件	0.0	-1.9	0.0	-1.9	-1.9	-1.9	-5.8	-5.8	-3.8	-3.8	-1.9	-3.8	-3.8	0.0
収益状況	-3.8	-5.8	-9.6	-19.2	-7.7	-11.5	-9.6	-13.5	-7.7	-13.5	-15.4	-15.4	-17.3	-1.9
資金繰り	1.9	0.0	-3.8	-7.7	-5.8	-5.8	-7.7	-7.7	-7.7	-11.5	-9.6	-9.6	-9.6	0.0
設備操業度	-4.0	8.0	-4.0	-16.0	-12.0	-12.0	8.0	20.0	8.0	-16.0	8.0	-4.0	-8.0	-4.0
雇用人員	-3.8	1.9	-1.9	3.8	5.8	5.8	0.0	1.9	0.0	3.8	0.0	-5.8	1.9	7.7
業界の景況	-7.7	-9.6	-7.7	-19.2	-7.7	-3.8	-5.8	-9.6	-5.8	-11.5	-13.5	-13.5	-5.8	7.7

図表4～【前月DI値差】

	売上	在庫	価格	条件	収益	資金	設備	雇用	景況
食料品製造	125.0	25.0	0.0	0.0	50.0	25.0	25.0	0.0	50.0
繊維・同製品	0.0	-25.0	-25.0	-25.0	-50.0	-50.0	0.0	25.0	-25.0
木材・木製品	-25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	50.0	0.0
印刷	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
窯業・土石	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-25.0	0.0	0.0
鉄鋼・金属	25.0	-25.0	0.0	0.0	-25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一般機器	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	-25.0	-25.0	0.0	0.0
製造業	16.0	0.0	-4.0	-4.0	0.0	-8.0	-4.0	12.0	4.0
卸売業	0.0	-33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	/	0.0	0.0
小売業	-42.8	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0
サービス業	16.6	/	16.7	16.7	0.0	33.3		0.0	33.3
建設業	40.0		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0
運輸業	25.0		0.0	0.0	-25.0	0.0		25.0	0.0
その他	0.0		-50.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0
非製造業	3.7	0.0	0.0	3.7	-3.7	7.4	3.7	11.1	
全体	9.7	0.0	-2.0	0.0	-1.9	0.0	-4.0	7.7	7.7

特記事項

情報連絡員報告（平成30年4月分）

所属組合	特記事項
和洋菓子製造業	全体としては、原材料が値上がり収益の影響が今後予想される。商品の値上げ、人手不足が大きな課題であり、組合員の減少も止まらないのが現状である。
酒類製造業	5月8日大田原市内において、栃木県産酒造好適米新品種「夢ささら」の田植をマスコミに取材して頂いた。来春には夢ささらの新酒のお披露目を予定している。
外衣・シャツ製造業	市況の売れ行き不振のため多品種少ロットの傾向があり、生産工場の生産性の追求ができなくなり、結果的に収益の悪化を招いている。
綱・綱・レース・繊維粗製品製造業	4月に入り、やっとレースシーズンらしくなってきた。業界全体では、まだまだ物足りない声を耳にするが、布帛生地から厚手の生地に変更し、その中でトーションレースに注目するデザイナーがおり、今後の動向に注目している。
一般製材業	新年度を迎えたが、依然として業界全体の景気は好転せず、厳しい状況が続いている。外注の人員を減らしたり、人件費をおさえたり、残業を極力しないよう各人が心掛けている状況にある。5月は連休が入り稼働日数は減少するが、仕事の数は少しずつ増加傾向にある。
印刷業	ニーズの変化、需要の停滞、過当競争、低価格、資材等の値上げなど厳しい経営環境に代わりはない。
石灰製造業	鉄鋼向け石灰は、4月より若干増加傾向である。農業用では、3月の天候の影響で4月へのずれ込みと北海道向けの出荷増により、全体的に若干増加している。
砕石製造業	平成29年度（4月～3月）の出荷量は、16,410,826トであった。同年度は、首都圏での五輪特需や物流拠点の整備など大型プロジェクトが目白押しであり、昨年同期比5.7%増で推移した。
陶磁器製造業	4月28日から陶器市が始まりましたが、売り上げは昨年と変わらないという意見がよく聞かれる。
金属製品製造業	売上高の増加は、製品売上以外の一過性のものである。
金属製品製造業	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車部品関連…自動車関連は横這い。 ・機械設備関連…半導体関連、自動車関連、工作機械微増。 ・プレス金型関連…自動車部品関連、工作機械関連は横這い。
一般機械器具製造業	30年4月は前年同月と比較し、全体的に売上高等につき不変としましたが、やや増加傾向、一部仕入単価の上昇もありという報告を受けている。全般的には不変状況下傾向にある。注文量がやや増えているという報告もありますが、設備投資には慎重であるものの操業度は増加、相変わらず人手不足、増産対応が厳しいという報告も受けている。
一般機械器具製造業	年度末（3月）が悪いと、年度初め（4月）が上向くという傾向が以前はあったが、今年は当てはまらない。政局の不安定が景気にも影を落としているようである。

各種商品卸売業	<p>・当団地では、本年度も新入社員を対象とした研修会を開催した。平成28年度24名から平成29年度は16名に減少、さらに30年度は13名と減少しており、企業の採用意欲は高まってきているものの、計画のとおり新入社員を確保することができなかったとする企業が多かった。これから先、益々労働力不足が懸念される。</p> <p>・食料品製造卸（海苔）を営む組合員は、海苔の不作による影響から仕入値の上昇が続き、取引先への値上げが難しく苦慮している状況にある。</p>
食肉小売業	全体的な動きは変わらず、多少国産品が値下がりしたので、少々荒利益が上がった。
各種商品小売業	春先に向け、衣料品等売り上げの上昇する3月ですが、2月からの寒波続きで、小売業の客数が減り苦戦の3月でした。一般的に全業種不調の月になった。
各種商品小売業	景気の回復が見えてきているが、小売業の回復が未だなく、厳しい状況下にある。お金を使う機運になっていないのではないかと思う。安くてもいいものがあふれ、お金を出して買いたいと思わないのではないかと？中心街の大型店は前年比30%の売上ダウン！
各種商品小売業	前年同月に新規テナントが2店舗オープンし、その影響で好調に売り上げが推移した分、今期は大きく数字を落とした。4月に栃木県内35年ぶりとなる新駅「足利フラワーパーク駅」が新設され、活況を呈している様子であるが、足利市内のごく一部に留まっていると感じている。
花・植木小売業	月初めは入学式や異動の関係で花がよく動いたが、年々イベントも規模が小さくなったように感じられる。後半は、連休での婚礼需要や母の日に向けての仕入れの動きが活発になり、特に、トルコキキョウ、芍薬、そしてカーネーション等は品薄感が強くなり単価高となった。来月は期待の大きな「母の日」もあり、カーネーションは品種によってはかなり引き合いが強くなると思われるので、より、計画的な仕入れを行い無駄な仕入れを減らすように話し合った。
理容業	年度替りということもあり、組合脱退者が多かった。今年度も脱退者防止が大きな課題となる。
自動車整備業	業績が低迷している状況にある。組合員支援策などを検討中である。
旅館・ホテル	宿泊の客室稼働率に関してはここ数年のトレンドのまま全体的に上昇していたが、2018年になってからの4か月間に関しては少し停滞感がある。DCを含んだGWの動きを注視していきたい。レストラン・宴会・婚礼など飲食に関する部門では多様化しており、依然としてホテル利用が全てではなくなっている。 宴会に関しては3月末から4月の歓送迎会シーズンを堅調に推移し、例年通りの数字を作れたと感じている。
ビルメンテナンス業	障害福祉サービスの報酬改定により、障害者就労支援事業の伸びが低下し、減収傾向となりつつある。ビルメンテナンス、廃棄物処理も僅かだが減少となっている。
給食センター	売上高は、昨年あったスポットの売上がないため減少となった。現状、米や野菜等の食材の値上げによりコストアップとなり厳しい状況である。先月同様に新規の得意先の開拓・新商品の開発・コストダウンにより、収益を改善する。

<p>内装工事業</p>	<p>栃木県室内装飾事業(協)の防炎ラベル支給枚数からみると、前年同月比カーテン用ラベルは11%減、敷物用ラベルは20%減、壁装用ラベルは44%増であった。ラベルの支給(売上)金額では38%増であった。前年同月4月の支給枚数から見ると本年度は好調にスタートできた。特に一般住宅壁装工事が増えた。</p>
<p>一般貨物自動車運送業</p>	<p>ドライバー不足と労働時間不足により荷主の要望に対応できない状況である。特にドライバー不足は深刻である。</p>
<p>貨物軽自動車運送業</p>	<p>年度決算期も終わり、貨物の受注量も一段落といったところである。ただ、大手運送会社等のドライバー不足もあり、請け負いきれなくなった貨物が小規模運送業者に輸送依頼するケースが増えてきている。輸出向けの栃木県産イチゴ(とちおとめ)の配送は5月末をもって終了となる。これまで、プラスに転じてきた景況感は、燃料価格の上昇により、売り上げ、営業利益がいずれも落ち込むことが予想される。</p>
<p>一般乗用旅客自動車運送業</p>	<p>DCキャンペーンの開催もあり、街中の賑わい、人通りも多い様に感じられる。特に、土、日、祭日は餃子店の前での行列が多いと感じた。</p>
<p>大谷石採石業</p>	<p>前年同月比でほぼ同じで推移した。昨年4月に平成8年からの基本価格をUPしたが、貼石(スライスしたもの)は影響が少なかった。材料を多く必要とする積石は、打撃が大きく新規は極端に減った。 大谷石の年間生産量は、昭和48年をピークに地震の特需を除き年々下降したが、減少も底をついた様で前年と同じ11,500トであった。</p>